



プレスリリース

2014年10月29日

各 位

東京都荒川区東尾久七丁目2番35号

株式会社 **ADEKA**
法務・広報部 総務・広報G
お問い合わせ先 03-4455-2803
<http://www.adeka.co.jp>

東京医科歯科大学に寄附研究部門を開設

株式会社ADEKA（代表取締役社長：郡 昭夫）は、東京医科歯科大学が同大学・生体材料工学研究所内に開設する寄附研究部門に、支援することと致しました。寄附研究部門の名称は「脱細胞化再生医療材料学研究部門」で、期間は本年11月から2年間を予定しております。

今回開設される寄附研究部門は、脱細胞化生体組織の生体における安全性・機能発現メカニズムなどを研究し、新しい移植用医用材料および再生医療用材料としての可能性を検討します。とくに、循環器系材料（小口径血管・心臓弁膜）、癒着防止材料、創傷治癒促進材料としての機能に注目した研究を行い、これらの実用化のための予備検討を進め、2年を目処に前臨床試験の開始および2020年ごろまでの実用化を目指していきます。

当社では、ライフサイエンス事業を樹脂添加剤事業、食品事業、情報・電子化学品事業に次ぐ、成長事業と位置付け注力しております。このたびの寄附研究部門の開設により、再生医療分野をはじめとするライフサイエンス分野での研究の進展に貢献できるものと期待しています。

【寄附研究部門の概要】

1. 大学名：国立大学法人東京医科歯科大学
（東京都文京区湯島1-5-45 学長：吉澤靖之）
2. 寄附研究部門の名称：脱細胞化再生医療材料学研究部門
3. 設置期間：2014年11月1日～2016年10月31日（2年間）
4. 教員名：准教授 船本誠一、講師1名、助教1名

用語説明

<脱細胞化生体組織>

同種（ヒト）および異種（ブタなど）の生体組織から、界面活性剤による洗浄や加圧などの処理を行って、細胞成分のみを除去した組織のこと。欧米ではすでに皮膚、血管、心臓弁、創傷治癒材料として実用化に供されています。

以上